

MEMS協議会(MEMS Industry Forum)の動き

1. 第15回国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウム ～ MEMS World ～ の開催

今年の総合イベント「マイクロナノ2009」第20回マイクロマシン/MEMS展同時開催プログラムのひとつとして、2009年7月29

日(水)にマイクロマシン展特設会場にて、「第15回国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウム～ MEMS World～」を開催しました。



今年のシンポジウムでは、研究開発拠点の集約化とMEMSアプリケーションをテーマとして、基調講演では、LETI/MINATECやFraunhofer ENAS、米国のMIGから研究開発拠点の集約化に関する動向を知り、セッション1では、センサーネットワークや光MEMS、エネルギー関連などMEMSアプリケーションの最新動向を紹介しました。セッション2では実現技術としての製造プロセスに着目し、ウエハーベンダー、製造装置ベンダー(接合装置)、材料ベンダーからの講演を集めました。

昨年度までとは異なり、聴講無料、展示会の期間内開催、講演会の場所も別会場から展示会内としました。会場に設置した230の席は満席となり活発な質疑応答がなされました。来年度に向けては、「マイクロナノ2010」全体の中での位置づけや国際シンポに参加して欲しいターゲット(マネジメント層なのか現場技術者なのかなど)を明確にして、さらに質の高い、ニーズにマッチしたプログラムとすべく準備したいと考えています。

2. MEMS協議会フォーラムの開催

7月31日(金)には、MEMS協議会の諸活動の情報発信・意見交換の場であるMEMS協議会フォーラムを第20回マイクロマシン/MEMS展特設会場において開催しました。



今年のフォーラムは、「MEMS産業の発展と裾野拡大に向けて：MEMS協議会からの情報発信」のサブタイトルのもとに、セッション1では、マイクロマシンセンター・MEMS協議会の委員会調査報告として、MEMS国際会議における技術動向、MEMSアプリケーションとMEMS分野に参入している関連企業の動向をまとめた産業動向、およびMEMS分野の国際標準化活動について紹介しました。

セッション2では「国際競争に勝つ研究開発・製造インフラの充実」として、ナノテクアリーナを活用するMEMS版「知と経験の集積拠点」構想の提案、MEMS開発のためのインフラ整備活動であるファンドリーネットワーク、MemsONE、MEMSPediaの紹介、さらには、MEMS産業拡大の原動力となるマイクロナノ人材育成への取組みを紹介しました。

セッション3では「MEMS産業・研究開発拠点の形成への期待」として、東北地域、関西地域、九州地域のMEMS産業基盤強化に繋がる活動状況について紹介しました。

フォーラム会場は満席で、MEMS産業への関心の高さが伺われました。

3. 第18回マイクロナノ先端技術交流会の開催

第18回マイクロナノ先端技術交流会が、6月24日(水)に、東京工業大学大学院総合理工学研究科 黒澤実准教授、東京大学大学院工学系研究科 須賀唯知教授を講師にお迎えし、MMCテクノサロンで開催されました。

黒澤准教授からは、「弾性表面波リニアモータ」と題して、古くからのMEMSデバイスである弾性表面波素子を用いたリニアモータについて、その研究の取り掛かりとなった超音波モータから現在に至るまでが紹介されるとともに、高速高精度なマイクロリニアモータとしての今後の展開が紹介されました。

また、須賀教授からは、「低温ウエハ接合」と題して、プラズマやイオン照射を用いたウエハの低温接合とその3D実装・MEMSパッケージへの適用の可能性について、接合の種類・手法、特に、真空中や大気中での接合、ナノ接合層を用いた接合、それらの接合メカニズム等について紹介されました。



東京工業大学 黒澤准教授



東京大学 須賀教授

参加者はMEMS協議会メンバー、一般参加者、及びBEANSプロジェクト関係者を含む19名で、先端技術情報の紹介と活発な質疑が行われ、講演終了後、講師の須賀教授、黒澤准教授を囲んだ技術相談・交流会がマイクロマシンセンター会議室で行われ、和やかなうちに閉会いたしました。